

# 農業・農村の潜在力を活かした新たな挑戦

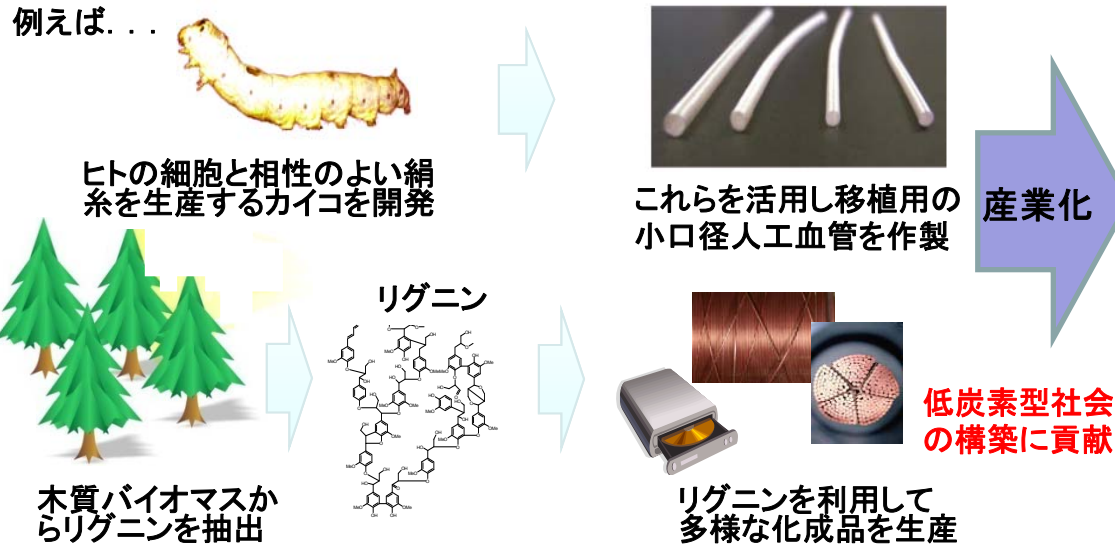


# 緑と水の環境技術革命

農山漁村では、機能性をもった動植物の生産が可能であり、バイオマス等の再生可能資源も豊富

革新的な技術の開発により、これらを活用した6兆円規模の産業を創出することが可能

～ グリーンイノベーション及びライフイノベーションの推進に貢献 ～



## 10年から20年後に6兆円規模の新産業を創出

<現在の市場規模>

医療用等の新素材	素材部門 9.4兆円
サプリメント等の機能性食品	医薬品部門 6.4兆円
バイオ燃料・バイオプラスチック	燃料・プラスチック部門 9.4兆円
バイオガス発電、太陽光・小水力	電力・ガス部門 27兆円

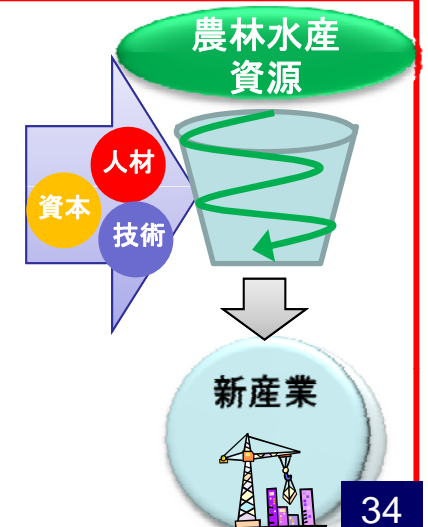
しかしながら、技術の産業化には様々なハードルが存在

- ・研究開発や産業化に向けて取り組む際の資金調達が困難な場合も少なくない
- ・最適な生産条件の検証や要素技術の組み合わせによるシーズ開発や実証が不十分
- ・原料となる農林水産物を安定的に供給する産地体制が未確立

## 今なすべきこと

研究開発から産業化までの取組を国が全面的に支援する体制を抜本的に充実

- ・異分野を含めた産学官の知見を集中投入
- ・研究開発から産業化までを切れ目なく支援

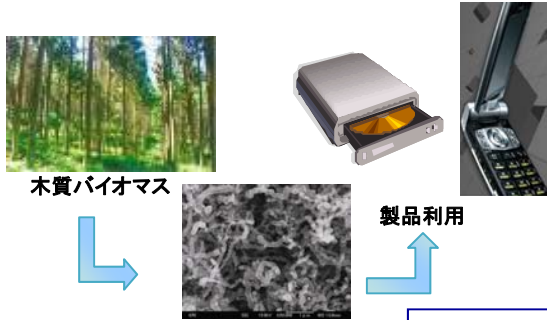


# 緑と水の環境技術革命に用いる技術例

## 素材部門・医薬品部門

## 燃料・プラスチック部門

## 電力・ガス部門



## 農山漁村に存在するバイオマス



## 亜臨界水処理技術を応用した木質バイオマス連続分解システムによる木材の新用途の創出



## バイオプラスチック製品



## バイオ燃料利用ジェット機 (写真はエンジン部分)



## バイオマスの高効率 発電・変換技術



## バイオエタノール 製造プラント

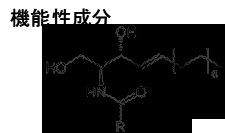
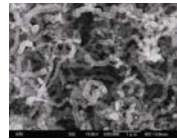


## 新エネ

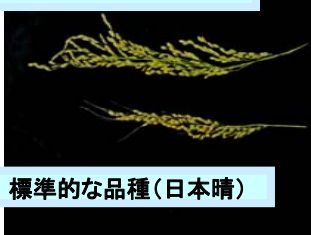


## 省エネ

## 施設園芸用ヒートポンプ



## 多収量米(北陸193号)



## 標準的な品種(日本晴)

## 燃料・マテリアル原料用 品種の育成